

イノシシの集中捕獲を実施します

～イノシシの出没前線地域にわなを設置し、生息域の拡大防止を図ります～

千葉市では、これまで主に緑区内でイノシシが出没し、年々捕獲を強化してきましたが、若葉区内で捕獲される事例が増えつつあります。

こうした状況を踏まえ、これ以上の農作物被害や市街地への出没を防ぐため、若葉区内においてイノシシの集中捕獲を実施しますので、お知らせします。

1 経緯

本市の令和7年度の有害鳥獣による農作物被害額約1,277万円で、そのうちイノシシによる被害額は480万円と約38%を占めています。

今年度に入ってから被害が続いており、市街地への出没も増えているため、さらなる捕獲強化に取り組む必要があると考え、専門知識を有する農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーの協力の下、関係機関が連携してイノシシの集中捕獲を行うこととしました。

2 概要

(1) 実施主体等

ア 実施主体

- ・千葉市鳥獣被害防止対策協議会
(構成 J A千葉みらい、千葉市猟友会、千葉市農業経営支援課 等)
- ・千葉市環境保全課自然保護対策室

イ 協力先

合同会社AMAC (エーマック)

(2) 実施期間・規模等

令和8年9月1日(火)～11月29日(日)の90日間

期間中、約60基のわなを若葉区の以下の地域を中心に設置します。また、佐倉市と連携し、同市との市境の一部にもわなを設置します。

<設置する地域>

若葉区富田町、小間子町、上泉町、下泉町、古泉町、和泉町

※緑区を中心に通年実施している捕獲活動は継続し、期間中は全体で箱わな・くくりわな計240基(うち約60基は上記若葉区地域)を設置します。

(3) その他

- ・千葉市猟友会員にわなの見回りや捕獲を依頼します。
- ・わなの周辺には、注意看板を設置します。
- ・捕獲されたイノシシは暴れて危険ですので、わなには近づかないでください。
- ・令和8年8月千葉豪雨の影響を確認しながら実施します。

3 今後の方向性

本取り組みの成果によって、期間の延長や次年度以降の実施も検討していきます。

<参考>

1 箱わな

箱型のおりの内側に餌を置いてイノシシをおびき寄せ、おりの中に入ったイノシシが蹴り糸に触れると、入口の扉が閉まる仕組みのわなです。



イノシシ用箱わな

2 くくりわな

ワイヤーで作った輪によって、イノシシを捕らえるわなです。イノシシの通り道の地中にわなを埋めて設置します。イノシシが輪の中を踏むとワイヤーが締めまり、足をくくります。



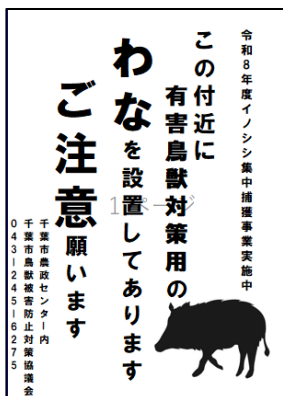
イノシシ用くくりわな



くくりわなで捕らえたイノシシイメージ

3 注意看板

わなの設置箇所に接する道路際の、目立つ場所に表示します。



注意看板イメージ

問い合わせ先

【集中捕獲事業全般および有害鳥獣による農作物被害に関すること】

経済農政局農政部農政センター農業経営支援課 電話 228-6270

【有害鳥獣による生活被害に関すること】

環境局環境保全部環境保全課 電話 245-5182